

上富田町学校施設長寿命化計画  
(個別施設計画)



令和2年10月



上富田町教育委員会

## 目次

(1) 学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)の背景・目的.....	1
①背景	1
②目的	1
③計画期間	2
④対象施設	2
(2) 学校施設の目指すべき姿 .....	3
(3) 学校施設の実態 .....	4
①学校施設の運営状況・活用状況	4
1) 対象施設一覧	4
2) 児童生徒数の推移	5
3) 地域別の将来人口推移と学校の配置状況	6
4) 投資的経費の推移	7
5) 学校施設の保有状況	8
6) 今後の維持・更新コスト	9
②学校施設老朽化状況の実態	10
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	10
2) 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)	11
(4) 学校施設整備の基本的な方針等.....	12
①学校施設の規模・配置計画等の方針	13
1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	13
2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	13
②改修等の基本的な方針(長寿命化の方針)	15

(5) 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等 .....	16
①改修等の整備水準	16
(6) 長寿命化の実施計画 .....	17
①改修等の優先順位付けと実施計画	17
②長寿命化のコストの見直し、長寿命化の効果	18
(7) 長寿命化計画の継続的運用方針 .....	19
①情報基盤の整備と活用	19
②推進体制等の整備	19
③フォローアップ	19

(1) 学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)の背景・目的

① 背景

上富田町の学校施設は昭和40年代から50年代の高度成長期に建設されたものであり、上富田町はその時代ごとの人口増加とともに学校施設等を積極的に整備してきました。

高度経済成長期に建設された学校施設等が40年ほど経過し、老朽化のために改修・更新する時期が到来しております。学校施設の耐震補強工事については既に完了し、町内学校施設については耐震化率100%となっています。

また、本町の人口は、昭和35(1960)年には9,545人でしたが、その後増加を辿り、平成27(2015)年には14,989人になっています。平成23(2011)年の東日本大震災の影響もあり、海側の地域からの転入者が増えており、和歌山県内では数少ない、人口が増加し続けている町です。

このような中、公共施設等を取り巻く社会情勢の変化に対応するためには、施設の現状や課題を調査・分析し、町民ニーズに沿った公共サービスを明らかにするとともに、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の適切な配置を実現することが必要となっています。

しかしながら、本町が所有する学校施設をすべて建て替えや維持管理していくことは、財政状況や人口動向から考慮すると、非常に厳しい状況です。

そのため本計画では、公共施設の今後のあり方等について基本的な方針を取り決め、この方針に沿って段階的・継続的に計画を進め、個別施設計画(以下、「本計画」という。)の策定を行うものです。

② 目的

本計画は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的観点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修・建て替えをするとともに、教育環境の資質改善も考慮しながら改修・建て替え等を検討するための詳細診断の優先順位を設定しつつ、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定します。

なお、本計画は上富田町公共施設個別施設計画に基づく、学校施設の個別施設計画として位置付けるとともに、施設整備計画は本計画に基づき策定していくこととします。

③ 計画期間

令和2年度から令和42年度までの40年間を整備保全計画期間とします。

また、実施実行については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCA サイクルによる実行システムを構築します。なお、本計画については、5年ごとに見直します。

④ 対象施設

本計画における対象施設を以下に示します。

学校教育施設	施設数
小学校	5校
中学校	1校

学校給食共同調理場	施設数
上富田町学校給食センター	1施設

(2) 学校施設の目指すべき姿

1. 安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の授業の中での調べ学習や協同学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境</li> <li>各教科を充実させるための環境</li> </ul>
<p><b>○災害対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震に強い学校施設</li> <li>津波・洪水に強い学校施設</li> <li>防災機能を備えた学校施設</li> </ul> <p><b>○防犯・事故対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全で安心な学校施設</li> </ul>	<p><b>○言語活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科における発表・討論などの教育活動を行うための空間</li> </ul>
2. 快適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの自発的な発言や読書活動を促すための環境</li> </ul>
<p><b>○快適な学習環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習能率の向上に資する快適な学習環境</li> <li>バリアフリーに配慮した環境</li> <li>子どもたちや保護者等が訪れやすい空間</li> </ul> <p><b>○教職員に配慮した環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員にも配慮した空間</li> <li>教職員等の事務負担軽減などのため の校務の情報化に必要な ICT 環境</li> </ul>	<p><b>○理数教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>充実した観察・実験を行うための環境</li> </ul> <p><b>○伝統や文化に関する教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統や文化に関する教育を行うための環境</li> </ul> <p><b>○外国語教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャーゲームなどの体を動かす活動やグループでの会話など、外国語への親しみが湧くような学習を行うための空間</li> </ul>
3. 学習活動への適応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習や観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境</li> </ul>
<p><b>○主体性を養う空間の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの教科書等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間</li> <li>社会性を身に付けるための空間</li> </ul> <p><b>○効果的・効率的な施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別指導や少人数指導などを行うための空間</li> <li>調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間</li> </ul>	<p><b>○学校図書館の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>調べ学習や観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境</li> </ul>
	4. 環境への適応性
	<p><b>○エコスクール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境を考慮した学校施設</li> </ul>
	5. 地域の拠点化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の生涯学習等の拠点となる学校施設</li> </ul>

「学校施設整備基本構想の在り方について」

(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議平成25年3月)より抜粋

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況

1) 対象施設一覧

本町には、小学校5校、中学校1校の合計6校の学校施設があります。小学校全体の延床面積は、18,076㎡、中学校は、6,414㎡となり、小・中学校合わせた延床面積は、24,490㎡になります。1校当たり床面積は、生馬小学校2,504㎡～朝来小学校6,754㎡となっています。

平成29年度に上富田町学校給食センター(1,218㎡)を建築して平成30年度より稼働しています。

図表 学校関係施設一覧

(令和2年5月1日現在)

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
				通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
小学校	1 生馬小学校	生馬 1901 番地	2,504	昭和 55	98	6	6	2
	2 朝来小学校	朝来 2750 番地	6,754	平成 18	432	23	14	4
	3 岩田小学校	岩田 1750 番地	3,052	平成 4	114	4	6	2
	4 岡小学校	岡 638 番地の 1	2,803	平成 6	88	8	6	2
	5 市ノ瀬小学校	市ノ瀬 604 番地	2,963	平成 1	110	5	6	2
小学校 計		18,076		842	46	38	12	
1 上富田中学校	岩田 173 番地の 1	6,414	昭和 40	410	9	14	2	
1 上富田町学校給食センター	朝来 3871 番地の 16	1,218	平成 29					

※建築年度は、教室棟・屋内運動場で最も古い建築年を採用

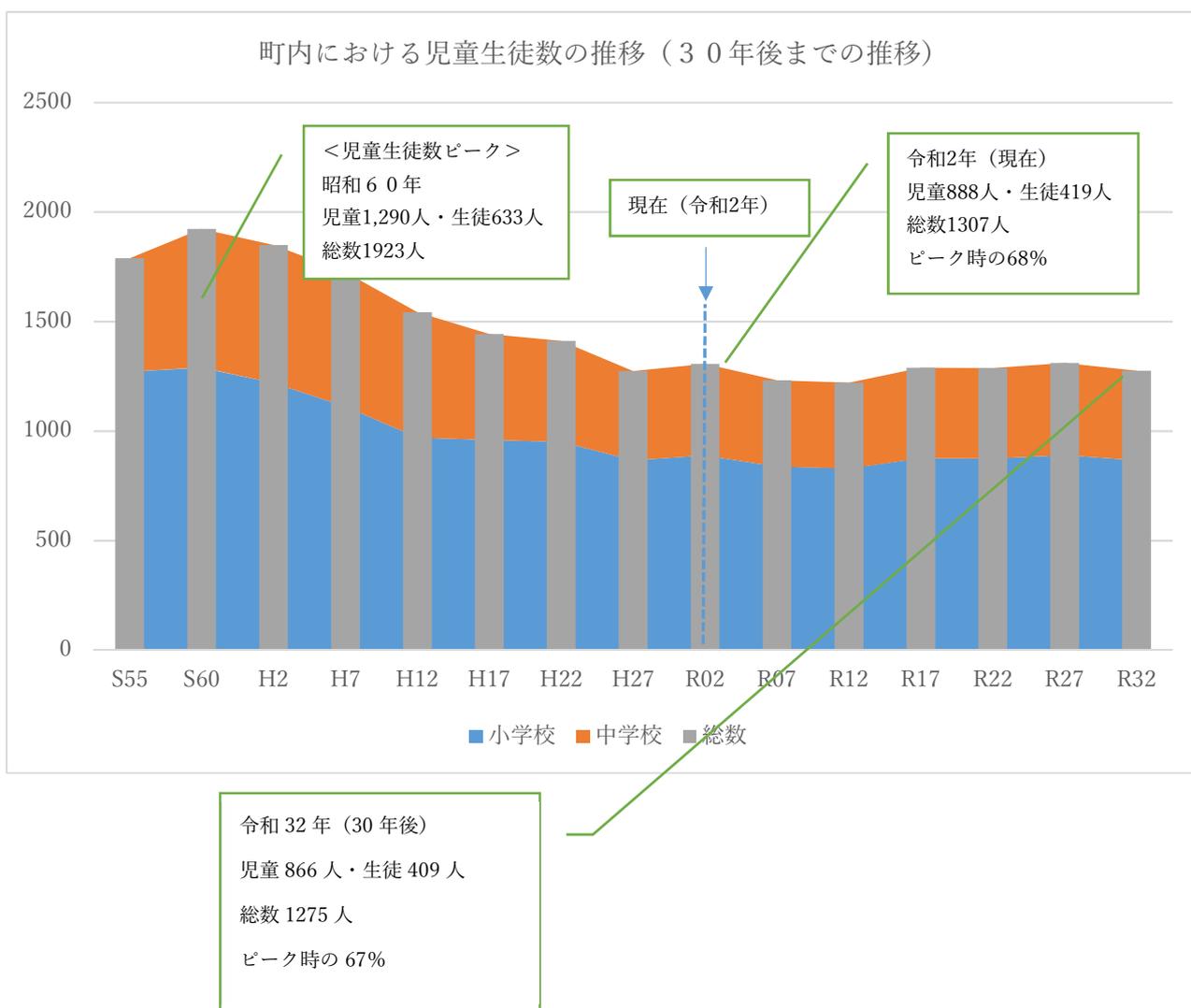
## 2) 児童生徒数の推移

### 【小学校】

町立小学校の児童数は、令和2年5月1日現在888人(50学級、特別支援学級12学級を含む)です。児童数のピークは昭和60年(1,290人)で、現在はピーク時の68%(888人)、令和32年時点では67%(866人)となっています。

### 【中学校】

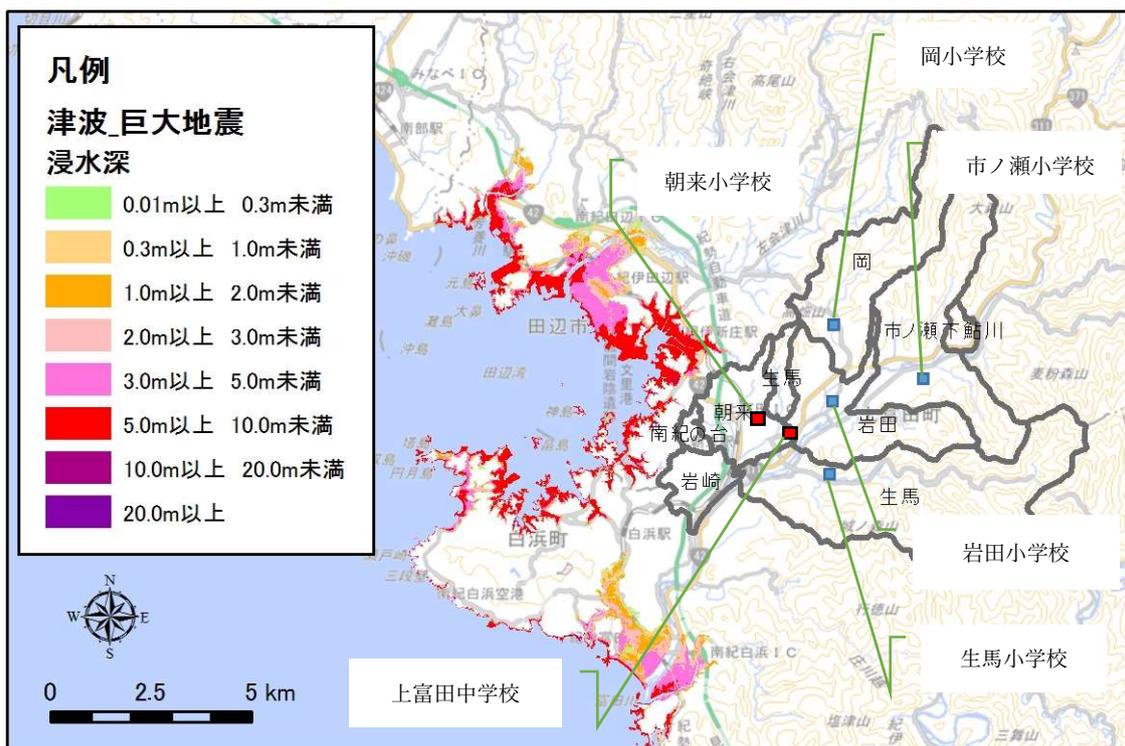
町立中学校の生徒数は、令和2年5月1日現在419人(16学級、特別支援学級2学級を含む)です。生徒数のピークは昭和60年(633人)で、現在はピーク時の68%(419人)、令和32年時点では67%(409人)となっています。



### 3) 地域別の将来人口推移と学校の配置状況

上富田町の人口ビジョンでは、合計特殊出生率は令和2年に1.80、令和12年に2.07に上昇します。全体の小学校児童数は、令和32年度までの推移をみると児童数の増減は少なく、現在(令和2年)とさほど変わらないが、朝来地域では住宅地開発が進められている関係から児童数は若干増加する傾向にあります。また、他の学校区の児童数については小規模校として1校当たりの児童数は100人前後で推移すると想定されます。

#### <学校の所在地>



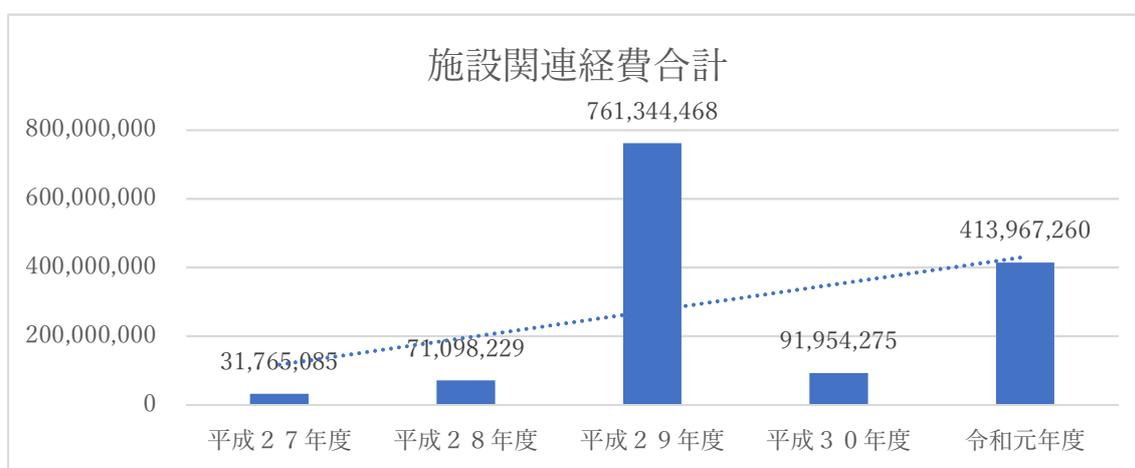
(出典：平成 25 年 和歌山県の津波浸水想定図を引用しています。)

#### 4) 投資的経費の推移

平成27年度から令和元年度の5年間の学校施設の施設関連経費は、約3千万円～7億6千万円で、年間の平均は約2億7千万円となります。

平成29年度に学校給食センターの建築、令和元年度には町内小中学校の空調設備設置工事があったため、投資的経費が高額となっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	5年平均
施設整備費	0	42,251,720	728,655,520	3,810,240	305,047,140	215,952,924
その他施設整備費	894,926	1,412,096	357,790	333,382	328,198	665,278
維持修繕費	9,847,804	6,953,930	9,999,037	6,636,137	12,473,968	9,182,175
光熱水費・委託費	21,022,355	20,480,483	22,332,121	81,174,516	96,117,954	48,225,486
施設関連経費合計	31,765,085	71,098,229	761,344,468	91,954,275	413,967,260	274,025,863

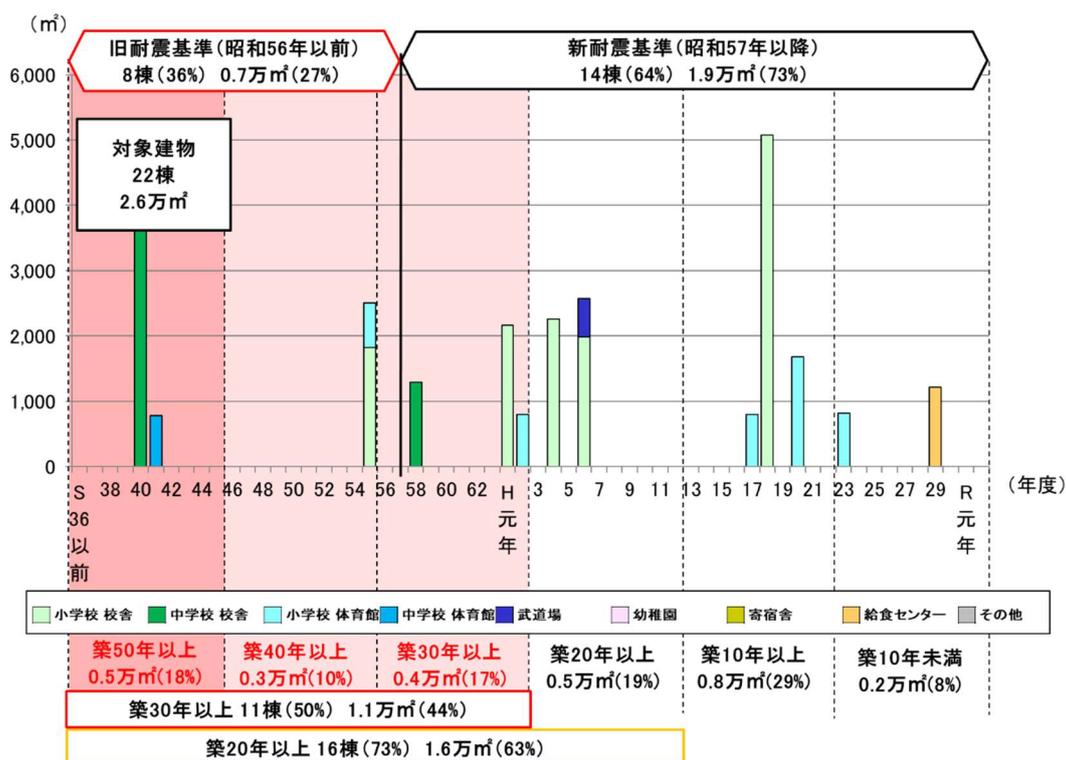


### 5) 学校施設の保有状況

計画対象の小中学校は、築30年以上の建物が11棟(50%)1.1万㎡(44%)と、小中学校の老朽化は進んでいます。また、10年後には73%が老朽化しています。

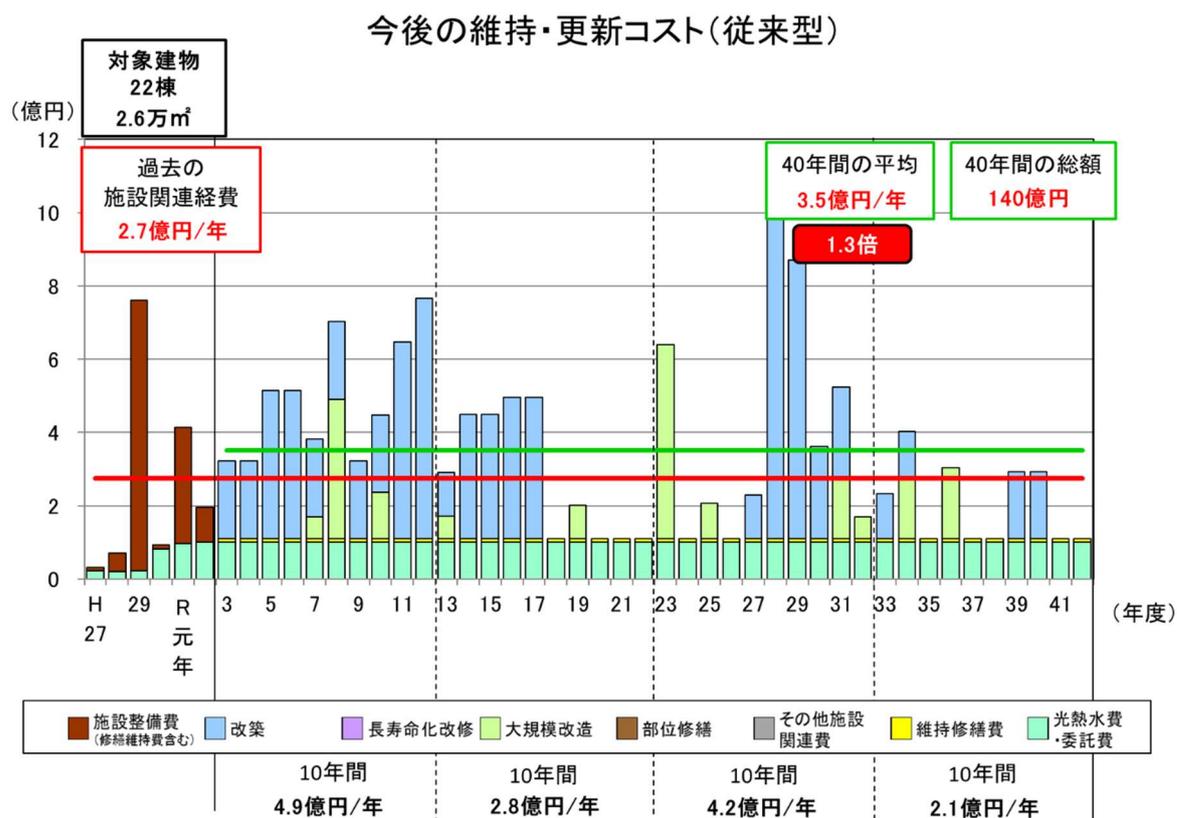
ただし、現在築50年以上の建物は上富田中学校の校舎(築55年)・上富田中学校体育館(築54年)となっていることから、長寿命化による対応を検討していかなければなりません。

### 築年別整備状況



## 6) 今後の維持・更新コスト

40年で建て替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後40年のコストは、140億円(3.5億円/年)かかります。これは、直近5年間の投資的経緯費2.7億円/年を1.3倍上回ります。また、令和3年～17年度の15年間では、改築が集中するため投資的経緯費の5倍以上のコストがかかります。このことから、従来の建て替え中心の整備を継続することは不可能であると言え、対応策を検討する必要があります。



## ②学校施設老朽化状況の実態

### 1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に、A,B,C,D の4段階評価で以下のとおり評価を行っています。

#### 評価基準

##### 目視による評価【屋根・屋上、外壁】

良好	評価	基準
	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）

##### 経年年数による評価

##### 【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

良好	評価	基準
	A	20年未満
	B	20～40年未満
	C	40年以上
劣化	D	経年年数に関わらず著しい劣化事情がある場合

#### 健全度

総和(部位の評価点×部位のコスト配分)÷ 60

#### 建物情報一覧表

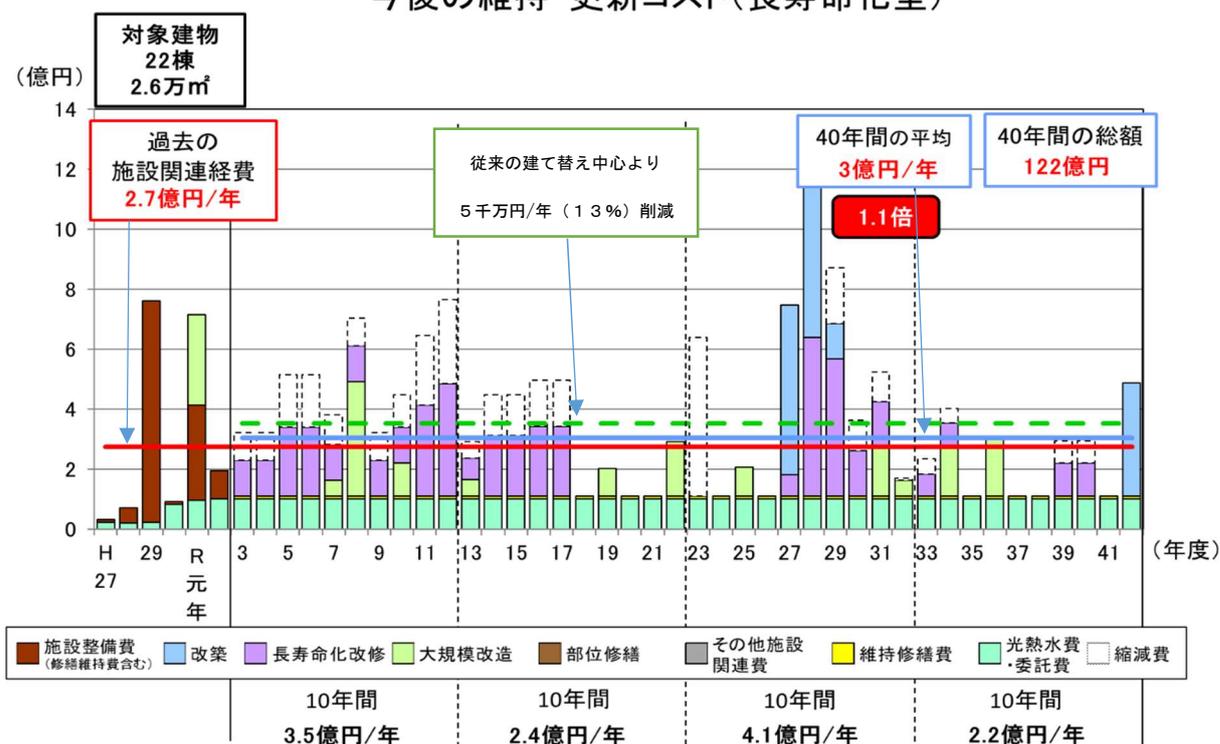
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			劣化状況評価					備考		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)	
																											築50年以上
1	1231	生馬小学校	校舎1	013		小学校	校舎	RC	3	1,076	1980	s55	40	旧	済	済	H20	49	長寿命	A	A	B	B	B	84		
2	1231	生馬小学校	校舎2	014		小学校	校舎	RC	2	750	1980	s55	40	旧	済	済	H20	52.7	長寿命	A	A	B	B	B	84		
3	1231	生馬小学校	体育館	016		小学校	体育館	S	1	678	1980	s55	40	旧	済	済	H20	47.5	長寿命	A	A	B	B	B	84		
4	1234	朝来小学校	校舎1	019		小学校	校舎	RC	2	2,914	2006	H18	14	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84		
5	1234	朝来小学校	校舎2	020		小学校	校舎	RC	2	2,160	2006	H18	14	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84		
6	1234	朝来小学校	体育館	021		小学校	体育館	RC	2	1,680	2008	H20	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	A	A	91		
7	1235	岩田小学校	校舎1	010-1		小学校	校舎	RC	2	2,108	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
8	1235	岩田小学校	校舎2	010-2		小学校	その他	RC	2	147	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
9	1235	岩田小学校	体育館	014		小学校	体育館	RC	2	797	2005	H17	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
10	1236	岡小学校	校舎1	008-1		小学校	校舎	RC	2	1,836	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
11	1236	岡小学校	校舎2	080-2		小学校	その他	RC	2	148	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
12	1236	岡小学校	体育館	010		小学校	体育館	RC	2	819	2011	H23	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
13	1237	市ノ瀬小学校	校舎	014		小学校	校舎	RC	2	2,166	1989	H1	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
14	12137	市ノ瀬小学校	体育館	016		小学校	体育館	RC	1	797	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
15	4710	上富田中学校	校舎1	001-1		中学校	校舎	RC	3	1,672	1965	S40	55	旧	済	済	H21	22.9	長寿命	B	B	C	C	C	53		
16	4710	上富田中学校	校舎2	001-2		中学校	校舎	RC	3	658	1965	S40	55	旧	済	済	-	H21	22.9	長寿命	B	B	C	C	C	53	
17	4710	上富田中学校	校舎3	002		中学校	校舎	RC	2	486	1965	S40	55	旧	済	済	-	H21	23.6	長寿命	B	B	C	C	C	53	
18	4710	上富田中学校	校舎4	003		中学校	校舎	RC	2	947	1965	S40	55	旧	済	済	-	H21	23.6	長寿命	B	B	C	C	C	53	
19	4710	上富田中学校	体育館	005		中学校	体育館	RC	2	780	1966	S41	54	旧	済	済	-	H21	21.4	長寿命	A	A	C	C	C	62	
20	4710	上富田中学校	校舎5	010		中学校	校舎	RC	2	1,287	1983	S58	37	新	済	済	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
21	4710	上富田中学校	武道館	011		中学校	武道場	S	1	584	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
22	K001	上富田町学校給食センター	給食センター	001		中学校	給食センター	S	1	1,218	2017	H29	3	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		

## 2) 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

建て替え中心の改修から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

長寿命化により80年に建物を長寿命化した場合、今後40年間の維持・更新コストは総額122億円(3億円/年)となり、従来の建て替え中心の場合の140億円(3.5億円/年)より1.8億円(5千万円/年)、約13%の縮減となります。ただし、投資的経費(施設関連経費)2.7億円/年に対してまだ1.1倍のコストがかかるため、長寿命化だけでは今後の財政に対応できない状況にあります。

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



#### (4) 学校施設整備の基本的な方針等

##### <公共施設等総合管理計画>

本町が所有する公共施設をすべて建て替えや維持管理していくことは、財政状況や人口動向から考慮すると、非常に厳しい状況です。

公共施設は、行政サービスの提供や地域交流・活性化の場、子育てや教育、福祉、観光といった様々な分野において欠かすことのできないものです。しかし一方で、当初の利用目的や役割を終えた公共施設や利用者数の少ない公共施設、また、著しく老朽化が進み、場合によっては利用者を危険に晒してしまう恐れのある公共施設があります。

そのため本計画では、公共施設の今後のあり方等について基本的な方針を取り決め、この方針に沿って段階的・継続的に計画を進めます。

##### ◆基本的な方針

方針番号	方針	備考
1	施設機能維持のための修繕を実施していく。	施設の維持
2	予防保全のための維持管理を実施していく。	
3	重要な施設のため、耐震診断を実施し、耐震化に向けての工事を行う。	
4	時期は未定だが、建て替えを予定しているため、都度修繕を行い、機能維持する。	施設の建て替え
5	施設の機能を維持する場合は改修・更新を実施するが、地域住民との協議次第では、統廃合も検討する。	施設の統廃合 (検討)
6	施設の建て替え・複合化・集約化等の検討を行う。	
7	他の施設で代用可能のため、老朽化が進行すれば取り壊す方針としている。	施設の取り壊し
8	施設の利用を中止しており、更新する予定も無いため、今後数年間で取り壊す方針としている。	
9	使用している住民への払い下げに向けて検討していく。	施設の払い下げ
10	使用している団体への払い下げに向けて検討していく。	

## ① 学校施設の規模・配置計画等の方針

### 1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

総合管理計画	教育施設整備保全計画	総合管理計画	教育施設整備保全計画
基本方針	基本方針	分野別方針 (教育施設)	分野別方針
<p>今後も継続して使用する施設については、これまでの「事後保全」の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的な修繕を行う。「予防保全」の考え方を取り入れ、定期的な点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、公共施設の長寿命化を推進する。(80年)</p>	<p>・今後躯体の健全性の詳細調査を随時実施し、可能な建物は80年に長寿命化する。</p> <p>・適切な維持管理、長寿命化による財政負担の平準化及びライフサイクルコストの削減する。</p>	<p>施設の長寿命化を図り、体育施設は児童・生徒の安全を確保した学校開放を進め、有効活用を図る。</p> <p>より良い教育環境の整備のため、施設の更新や大規模改修時には、将来の児童・生徒数見込みに基づき、適切な施設規模や仕様を検討する。</p>	<p>小中学校の規模の適正化と適正配置を推進する。</p> <p>大規模改修、建て替え時等には、将来児童・生徒の増減見込みを鑑み、プール、体育館、グラウンド等の機能を集約、複合化も検討し、地域コミュニティと防災の拠点化を図る。</p>

### 2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

上富田町の全6校の小中学校は、朝来小学校、上富田中学校が標準的な規模であり、生馬小学校、岩田小学校、岡小学校、市ノ瀬小学校の4校は小規模校です。

全6校は、町内にバランスよく配置されており、資産経営の中心となる施設用途であることから、原則として現在の配置を維持していきます。

#### 1 適正配置の方策

標準的な規模を超える場合の方策は、次の3つを基本として検討します。

##### (1) 標準的な規模を超える学校の方策

###### ① 通学区域の再編

近隣に小規模な学校や標準的な規模の学校があり、通学距離や規模、施設などに問題がない場合には、通学区域の一部を周辺の学校の通学区域に編入すること。

###### ② 学校の分離新設

通学区域の再編が困難で、学校用地の確保ができるなどの条件が整う場合は、学校を分離新設すること。

###### ③ 施設整備での対応

通学区域の再編、学校の分離新設のいずれもが困難な場合、学級数に応じた施

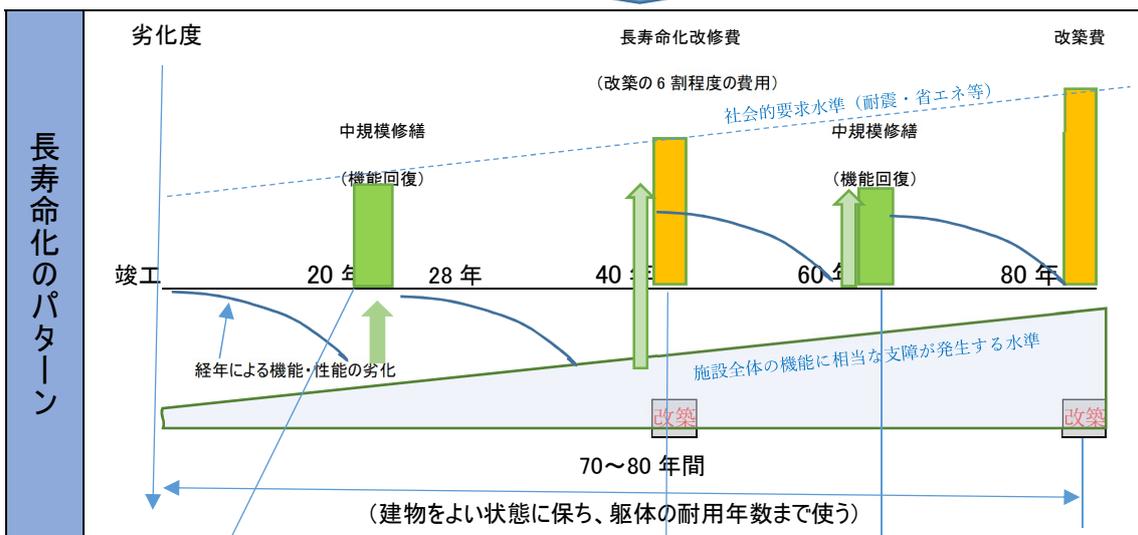
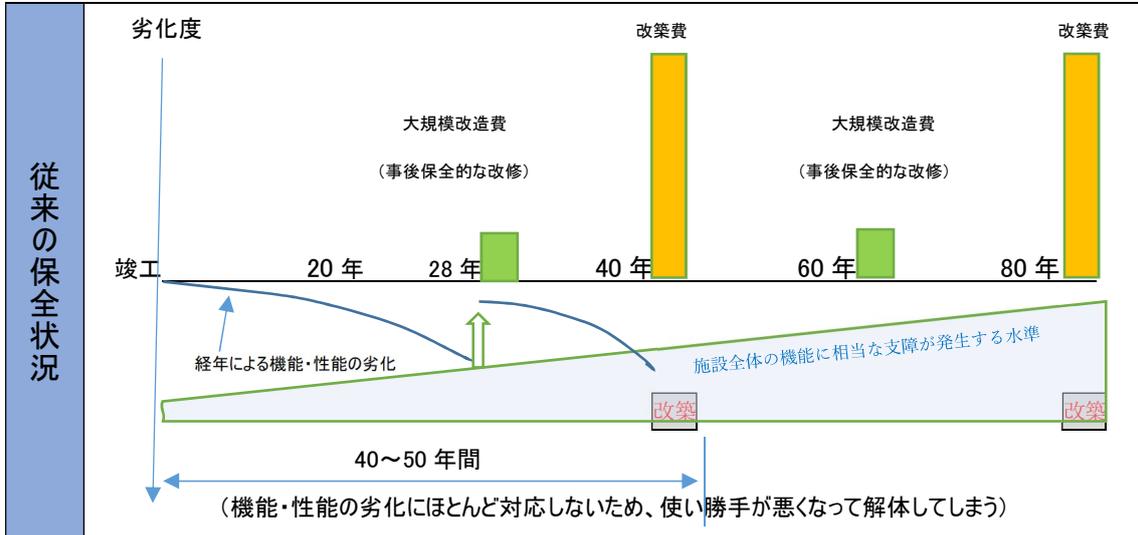
設整備によって対応すること。

ただし、現在、標準的な規模(31学級)を超える見込みは令和 32 年までありませんが、次の各号に該当する場合には、施設整備による対応を検討するなど、分離新設によらない方策により、教育環境の整備を図るものとします。

・31学級以上になることが短期間と見込まれ、かつ分離新設するための用地の確保が困難な場合

## ② 改修等の基本的な方針(長寿命化の方針)

今後は、建て替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。以下に長寿命化改修を実施した場合の修繕・改修周期を示します。



築20年目の中規模修繕
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水工事</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備機能更新</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障不具合修繕</li> </ul>

築40年目の長寿命化改修
経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防水改修(断熱化)</li> <li>・外壁改修</li> <li>・開口部改修・内部改修(床・壁・天井)</li> <li>・設備改修・プール改修</li> <li>・グラウンド改修等</li> </ul>

築60年目での中規模改修
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水工事</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備機能更新</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障不具合修繕</li> </ul>

(5) 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

○校舎

長寿命化において配慮すべき性能に対して、各部の整備レベルを設定し、対費用効果を考慮して最適な仕様を設定します。また、将来の社会要求水準の高まりへの対応、建物の整備レベルの向上を図ります。

校 舎		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #f9cb9c;">省エネ型 長寿命化改修</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #c6e0b4;">長寿命化改修</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #a1c4c9;">現状の整備レベル</div> </div>		
部 位	改修メニュー(整備レベル)	
外部仕上げ	屋根・屋上	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">外断熱保護防水 (既存撤去)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">改質アスファルト防水 (既存の上)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">シート防水 (断熱なし)</div> </div>
	外壁	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">外壁塗装 (防水型複層塗材)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">外壁塗装 (複層薄塗材)</div>
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">外断熱</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">内断熱</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">断熱なし</div> </div>
	外部開口部	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">サッシ交換 (カバー工法)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">既存サッシの ガラス交換</div> </div>
	その他外部	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">手すり等の鉄部塗装</div>
内部仕上げ	内部仕上げ (教室)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">内装の全面撤去・更新</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">床補修 壁・天井塗替え</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">既存のまま</div> </div>
	トイレ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">内装の全面撤去・更新 ドライ化</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">床補修・壁天井塗替</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc;">既存のまま</div> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff2cc; margin-top: 5px;">既存便器のまま</div>

学習環境(多様な学習の場・ICT 環境)

生活環境(トイレの洋式化・トイレのドライ化)

省エネ化(太陽光発電・LED 照明・高断熱・高气密化)

バリアフリー(エレベーター・多目的トイレ・点字ブロック)

防災・防犯(自家発電・防犯カメラ・マンホールトイレ・カマドベンチ)

(6)長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

＜今後5年間の整備計画＞

今後の5年間の計画は、過去2.7億円/年で平準化し、右に示す整備内容で設定します。

整備基準としては、①長寿命化改修は、構造躯体の健全性が良好な学校とし、②部位別改修は、緊急性を要する部位(学校)とし、適正配置計画も見据えながら実施します。

＜今後5年間の予算配分＞

予算配分の考え方としては、維持修繕・その他経費を除く2億円(工事費)のうち、これまでの実績から一般財源は半分の1億円と想定します。

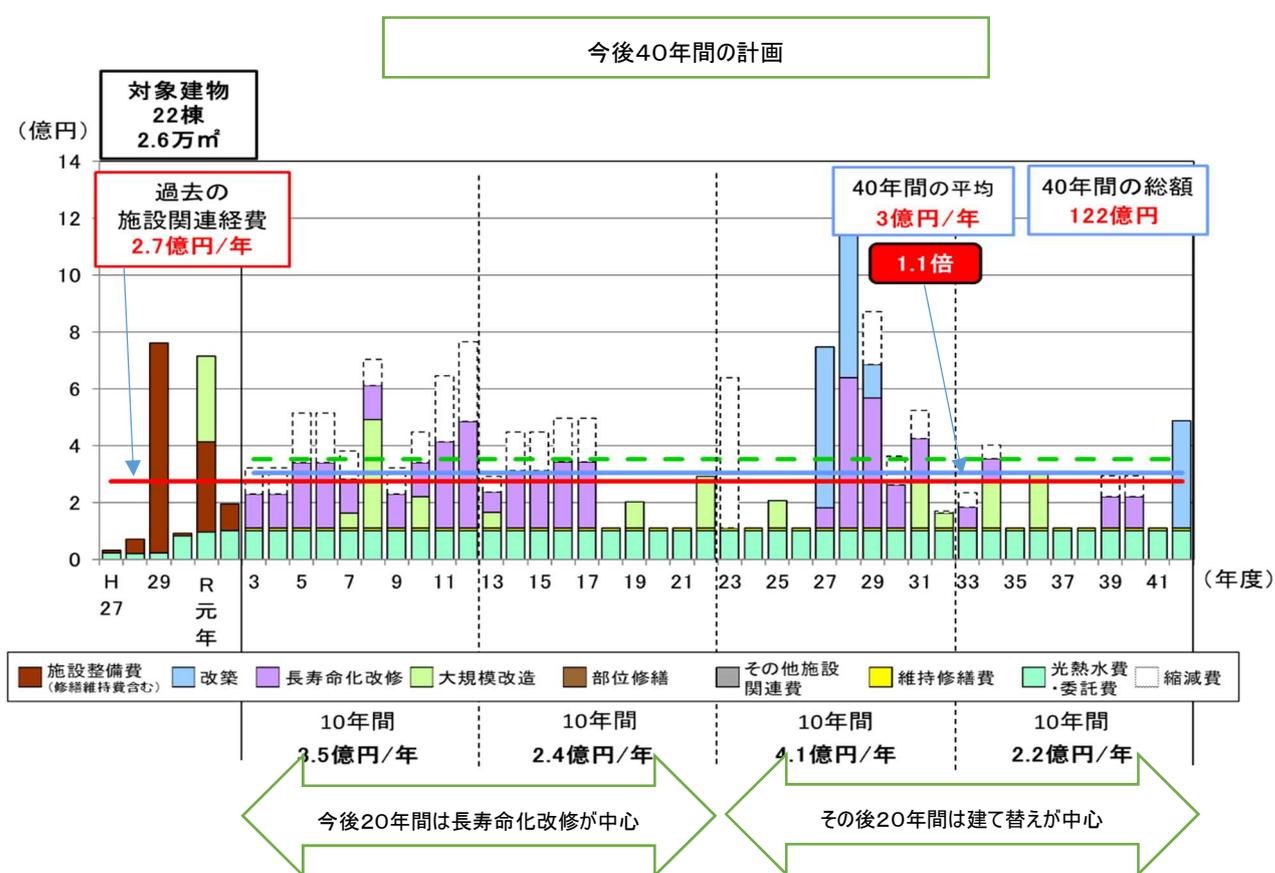
また、財源については、国の補助金や起債などを適切かつ効果的に活用し、財政負担を軽減します。

整備内容			
① 長寿命化改修		年1校ずつ実施	
部位改修	② D評価(早急な対応が必要)改修	躯体への影響を優先 屋根・屋上改修 外壁改修	D評価部位を5年間で解消 屋根・屋上の改修 年1校 外壁改修 年1校
	③ 施策への対応	非構造部材 体育館・教室照明	屋内運動場の非構造部分 体育館・教室照明(LED)
	④ 設備等の大きなコストのかかる更新サイクルへの対応	キュービクル ボイラー・油送管	これまでの実績により設定 キュービクル 年1校 ボイラー 年1校
	⑤ グラウンド		年1校
修繕費・その他経費		修繕費 500円/㎡ これまでの実績により設定	

② 長寿命化のコストの見直し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針

今後の学校施設の維持・更新コストは、長寿命化をしても過去5年間の投資的経費(2.7億円)の1.1倍(3億円)に増加することが見込まれています。施設のあり方や維持・更新コストの削減及び財源確保は大きな課題となる中、個々の学校施設の長寿命化(保全計画)だけでは限界があることから、財政制約ラインとコストとの乖離を埋めていくため、適正化に向けた総合的な取り組みの方針を明確にしていく必要があります。

40年間の計画は、長寿命化による維持・更新コストの総額122億円を平準化し、今後(令和3年以降)は、3億円/年となる見込みです。また、今後20年間は長寿命化改修が中心となり、その後20年間は建て替えが中心の整備となります。



## (7)長寿命化計画の継続的運用方針

### ① 情報基盤の整備と活用

施設の状況や過去の改修・交換履歴、事故・故障の発生状況をデータベースに蓄積するとともに、12条点検等の法定点検の結果等、継続的な点検調査の結果に基づいて劣化情報を管理していきます。

### ② 推進体制等の整備

学校施設の所管化である教育委員会学校教育班を中心に、本計画を含む学校施設のマネジメントを行っていきますが、必要に応じて全庁的な体制で対応していくことになります。

また、日常的な施設管理の質を向上させるため、各学校による毎月の巡回点検・報告など不具合箇所の早期把握と予算化などの対応を図っていきます。

### ③ フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や建て替えの優先順位を設定するものであり、上富田町公共施設個別施設計画の中で年次及び個別の事業費を精査していきます。

また、事業の推進状況、劣化調査などの結果を反映して本計画の見直しを図るものとします。